

SEISHO JHS Journal

青翔中学校通信 (6月24日号 Vol.4)



6月の授業や行事の様子について生徒がレポートします!

毎日《朝学》で頭スッキリ(中一)

青翔中学校に入学して約2ヵ月ほどたちました。そこで最近始まったのは朝の学習略して朝学です。毎朝課題を出して下さる先生も大変ですが、これがなかなか難しい。初めて見た時は思わず手が止まってしまう。ですが、私は朝のねむい頭をスッキリさせてくれて結構良いと思います。ちなみに、この内容というのが文章にタイトルをつけて下さいや、この文で伝えたい事を選びなさいなど。国語が苦手な私だったのでたいぶん心配したのですが考えたらなんとか思いつきました。これを続けられれば、読解力がついて国語が得意になるかも、と思っています。

文化庁公演で感動の舞台(中三)

私たちは、文化庁の公演で、劇団俳小さんによる「トキワ荘の夏」という演劇を観ました。このトキワ荘の夏は、マンガの聖地「トキワ荘」を舞台に、漫画家たちの織り成す輝かしくもほろ苦くもある彼らの成長を瑞々しく描いたストーリーです。中学三年の代表の六人は、この演劇にトキワ荘の近所に住む子供の役として出させていただけました。私もその中の一人です。お借りした衣装が思っていたより可愛いくて思わず「ニシヨ」が上がりました。そして、やっぱりプロの演技は迫力があって感動しました。とても貴重な経験をしました。私も、将来は演劇とは違えど、エニターテイメント的なことをやりたいと思います。いたときがあったので、少しだけ夢が叶ったような、そんな気がしました。

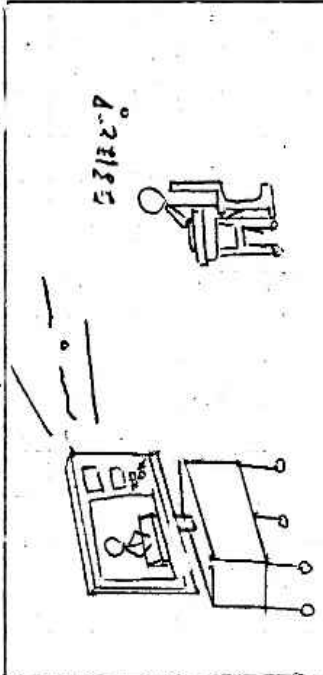
※中2の記事は裏面にあります

気象台出前授業で深い学び(中二)

私は六月十四日に、コロナウイルスにより直接会うことができないため、リモート会議を通し、気象台の予報官である小西誠二さんに「気象台の仕事と天気予報がでるまで」について教えていただきました。この方の向ける工夫をしていただきました。私は事前に地学の授業で習っていましたので、少し詳しいな授業だと思いましたが、中二のウイニドアアイという説明がやりこむと見ても、まじりたく頭に入りました。このことか、私はこのように思いました。私は専門家の人の説明が詳しく、聞き取りやすいと感じました。私は「専門家の人の説明が詳しく、聞き取りやすいと感じました。私は専門家の人の説明が詳しく、聞き取りやすいと感じました。」

私自身もためになるものでした。私が「良かったです。今読んでいられる本は、気象台のホームページで読むことができます。気象台のホームページで読むことができます。気象台のホームページで読むことができます。」

今の中学二年生の様子。廊下から笑い声が聞こえてくるほどです。教室で友人としゃべっている様子もよく見られます。廊下から笑い声が聞こえてくるほどです。教室で友人としゃべっている様子もよく見られます。廊下から笑い声が聞こえてくるほどです。教室で友人としゃべっている様子もよく見られます。



最後まで読んでいただきありがとうございます。ごいしました。